

第2回 防府市駅周辺まちづくり協議会 議事録等

■開催日時・場所

令和2年8月27日(木) 14時00分から15時30分まで
ルルサス防府1F(ダイソー跡)

■次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 議事

(1) 駅周辺のまちづくりについて

- ①JR防府駅周辺について(アスピラート・ルルサス等)
- ②道路整備等について
- ③駐車場について
- ④駅北公有地の活用について
- ⑤その他

4 その他

■配布資料

- ・資料1 第1回会議での意見等
- ・資料2 アスピラート・ルルサス防府平面図
- ・資料3 防府駅周辺の道路規制等

■出席者名簿(敬称略)

【区分】	【所属団体名】	【氏名】	【備考】
会長	山口県立大学	前田 哲男	
副会長	防府商工会議所	中村 元彦	
団体等の代表者	西日本旅客鉄道(株)	池永 一民	欠席
〃	イオン防府店同友店会	上田 章雄	
〃	防府市文化協会	岡本 早智子	
〃	防府市文化振興財団	河村 俊之	
〃	天神町銀座商店街振興組合	種田 正幸	
〃	(株)山口銀行	坪内 寿郎	
〃	山口県立防府商工高等学校	中村 英哲	
〃	防府観光コンベンション協会	羽嶋 秀一	欠席
〃	(株)周防夢座	藤本 晃二	
〃	防府地域振興(株)	藤本 尚志	
〃	連合山口県央地域協議会	宮本 晴充	欠席
〃	東山口信用金庫	守田 誠	
〃	市民活動さぼーとねっと	山根 和子	
公募等	-	田中 元昭	

■会議録

1 開 会

2 市長あいさつ

市民、民間、行政が一緒になってまちづくりを進めていきたいと考えている。前向きなご意見をいただき、次の総合計画に位置づけていきたい。

3 議 事

(1) 駅周辺のまちづくりについて

※ 議題の各項目について、前回委員会での意見等に関する現状及び留意点を事務局より説明。

①JR 防府駅周辺について（アスピラート・ルルサス等）

【 A 委員 】

- ・ アスピラート1Fについては、「山頭火の部屋」と「大村能章の部屋」を合わせて200㎡くらいになるが、正に「まちなかギャラリー」に適している場所であると思う。
市民から防府市には美術館がないという声も聞く。市内には音楽だけでなく美術などに係わる多くの団体もあるので、是非検討してほしい。また、それを進めるにあたっては可能な限り協力したいと考えている。
「大村能章の部屋」については、市が保管している遺品等をしっかり管理することを望むとともに、仮に部屋を移設する場合の今後の展示方法なども工夫していただきたい。
- ・ アスピラート1Fの市民スペースについては、建物の中で何をやっているかが外から見ると良いと思う。また、スペースの中に、簡単な仕切りを作ってもよいのではないかと思う。

【 B 委員 】

- ・ アスピラートは駅の北側に出て最初に目に入ってくる施設。昨年、県内の高校生の写真展を防府で開催できないかという話があった際、「防府駅前であれば展示を見に来るだけでなく、その周辺で買い物や観光もできる。」という意見があった。このようにアスピラートは県内に防府をアピールできる、便利な場所にある建物であると思う。
また、アスピラートとルルサスの間の外部空間なども活用し、例えばトラックでの弁当販売などを行ったりすると良いのではないかと思う。

【 C 委員 】

- ・ アスピラートの「山頭火の部屋」と「大村能章の部屋」の活用については、利用方法や利用料金なども含め検討していく必要があるかと思う。1Fの市民スペースについては、現状では2Fの展示ホールを使用する間（稼働率は年間70%程度）は1Fで大きな音を出すような利

用はできないといった部分がネックとなる。大人だけでなく地域、学校なども巻き込んで活用が図られると良いと思っている。

【 D 委員 】

- ・ 若いお母さんたちと話す中で、「子ども連れのと看やベビーカーを利用しているとき、アスピラートやルルサスからイオンなどに雨に濡れずに行きたい。」「日差しを遮るようなものがほしい。」という声をよく聞くので、まちなかの動線を考える際にこういった視点も考慮してほしい。
- ・ 文化福社会館のルルサスへの機能移転に関して、外から講座などを行っているのが見え、「面白そうな講座をやっているから受けてみようか。」と思えるようなかたちで整備ができると良いと思う。そうすれば2Fの市民活動支援センターなど他の施設にも良い波及効果があるのではないか。
- ・ 新型コロナウイルスの影響もあり、学生の自習スペースなども制限されている状況にある。現在、ルルサスでもフリースペースの社会実験を行っているが、学生だけでなく、子供から大人までが共有できるような場所がルルサスの1Fにあると良いと思う。
- ・ 個々の店に行くことも大事だと思うが、例えば駅前で複数の飲食店のテイクアウトのものが買えるような所など、コロナ禍において、うまく駅周辺を使っていってはどうかと思う。

【 A 委員 】

- ・ 駅周辺はマンションが多く建設されていて、若い方だけでなく高齢の居住者も多いと聞いている。文化福社会館のうち、中央公民館という市民に近い機能が駅前に移転し、そういった方々の学びの場となることで、生涯現役で過ごしてもらうことにつながるのでは。
(施設の再編などについて) いろいろ検討されていると思うが、メリハリをつけ、うまく連携を図ることで最上のものができるようにしてほしい。

【 E 委員 】

- ・ ルルサス1Fの空き店舗のスペースを、市民が自由に使えるエリアとしてほしい。例えば市内の飲食店のケータリングを提供する場として使うなど、市民の憩いの場、交流の場として利用されると活気のある場所になるのではないかとと思う。

【 F 委員 】

- ・ アスピラートのような文化的な施設とルルサスのような民間の施設に、文化センターの機能が加わり、それらが連携できるようなアイデアがあれば、大きなお金をかけなくてもうまく機能していくのではないかとと思う。
- ・ 駅の位置づけが昔と変わってきている。車での移動が多いということを前提に、駅をどう活かしていくかを考えた上で、動線などにひと工夫すれば人の動きが出来てくるのでは。

【 G 委員 】

- ・ 鉄道高架事業は元々、駅南北の一体感を出そうということで何十年もかけて進められてきた。もっと一体感を出せるよう、例えばアスピラートやイオンまで、路面上に歩行者動線に統一感をもたせた色を付けるとか、歩行者デッキのようなものを整備し、その周りにワゴンショップやコンテナで物販をするなどが考えられるのではないか。そういった展開をしていけば、自然と人が集まり、市民の交流の場となるのではないか。

昨年、鉄道高架の25周年イベントの際に、ルルサス1Fの空き店舗でパン店が10店舗くらい集まって「パンマルシェ」が開催され、多くの客が訪れていた。この例からも、仕掛けようによっては賑わいが創出できるのではないかと思う。

【 H 委員 】

- ・ 前回、「駅前に天満宮をイメージできるような展示を」という意見があったが、アスピラートの前のからくり時計も観光案内板としてリニューアルされているので、そこになるべく近い場所であるアスピラートの市民スペースなどにそういったものがあると効果的だと思う。

【 会 長 】

- ・ 施設の活用については、今後、運営を行政だけでなく、行政と民間、民間同士など様々な連携を図ることや、外部空間の整備ということも重要になってくると思う。

② 道路整備等について

【 B 委員 】

- ・ 時代の流れとともに人口や交通量は変わっていく。近年市街地にマンションが建設され、住民が増加しているので、交通体系の見直しも必要と思う。また、鉄道高架は整備されたが南北をつなぐ道路の整備が追いついていない気がする。

【 F 委員 】

- ・ アーケードについては市中心部の道路の一部として考えていただきたい。現在、商店街ではアーケードの方向性について、撤去する・しないという結論ありきではなく、まずはどのようなまちにしていきたいか、という議論を進めている。私見としては、アーケードを撤去して、商店街から天満宮までつながって見えるようなまちづくりが現実的ではないかと思っている。

【 D 委員 】

- ・ 昔に比べてまちなかを子どもたちが歩いている姿を見なくなった。子どもたちが歩いているような道を。また、市道栄町藤本町線の周辺に女性が行きたくくなるような、歩きたくな

るような店舗ができると良いと思う。

- ・ アーケードについては、車が通れるようになると良いと思う。

【 I 委員 】

- ・ 屋外でイベントを実施する際に、天候に左右されないアーケードのような場所があるとスケジュールの計画が立てやすいという面はあると思う。仮にアーケードを撤去するとしても、他に雨に濡れない場所が確保できれば、賑わい創出のためのイベント等が計画できるのではないかと思う。

【 J 委員 】

- ・ 駅周辺の動線に関する話があったが、現在駐車場として利用している鉄道高架下に通路や店舗ができると、回遊性も生まれ、駅南北の一体感のあるまちづくりになるのではないか。
- ・ 市道栄町藤本町線の整備について、道路をあえて直線にしないことで、車のスピードが抑制できるし、最近のショッピングセンターでは通路沿いの店舗の見通しを良くするために直線的にしないという例もあるので、そういった効果も期待でき、歩きやすい道路になるのではないかと思う。
- ・ 商店街は「萩往還」を活かした通りにすると良いと思う。

【 K 委員 】

- ・ 今年 2 月に建築家の隈研吾氏が講演会のために防府を訪れた際、市街地を見られて回遊性が大事だということをお話されていた。
- ・ この協議会での意見を聞くなかで、アーケードの屋根がないと遠くからも天満宮が見えるのではないかと、また、天満宮が見えることで、そこを目指す人の流れができるのではないかと感じた。
- ・ 市道栄町藤本町線やアーケードをインフラ整備として考えると、それらを整備することによって民間参入のきっかけとなり、周辺に大きく影響してくるのではないかと思う。

【 L 委員 】

- ・ アーケードについては、空き家などの不動産を動かしていくという視点で考えると、撤去した方が良いのではないかと思う。また、宮地嶽神社(福岡県福津市)の「光の道」のように、道路の見通しが良くなることで大きな動線の変化のきっかけになるのではないかと。
- ・ 天神ピアについて、個人的な見解ではあるが、躯体に問題がなければリノベーションをすることで、古さを活かした良い場所になるのではないかと思う。

【 H 委員 】

- ・ 駅の北東ブロックは南北を双方向に行き来できる道路が少ないので、市道栄町藤本町線を早期に整備し、まちなかに流れをつくっていくべきだと思う。

【 M 委員 】

- ・ ルルサス防府とルルサス防府の駐車場の間にある信号機の影響で、イオンから出る車が渋滞してしまうことが多いので改善を。

③ 駐車場について

【 D 委員 】

- ・ 文化福社会館の駅前への機能移転に伴い、駐車場が不足するということについて、この周辺にはルルサス防府、市営中央町駐車場、イオン防府店の駐車場があるが、例えば山口市のように各施設共通の駐車券が使えるようなシステムができると便利になるのではないかと思う。

【 J 委員 】

- ・ イオンの駐車場は最近システムを変えたばかり。仮にシステムの共通化などを検討するのであれば、イオンの本部とシステム等も踏まえた話をする必要がある。もし実現すれば便利な駐車場になるのではないかと思う。

→ 【 事務局 】

- ・ 実現可能性の有無といったところも含め、関係の方にお聞きしてみたいと思う。

【 A 委員 】

- ・ 文化福社会館の利用については、これまで駐車場の利用は無料となっている。移転後も、例えば講座等の利用者については2時間無料にするなど考慮していただきたい。

④ 駅北公有地の活用について

【 E 委員 】

- ・ 活用にあたっては、例えばマンションを核として医療、コンビニ等を置くなど、土地の一体的な利用を計画できるような企業を誘致するのが良いのではないか。

【 B 委員 】

- ・ (駅北公有地は) 店舗や学校なども近くにあり、とても便利な場所にある。土地を単に現状で売却するのではなく、道路の付け替えを行うなどして価値を上げて売却すれば、市の収入増にもつながると思う。

【 K 委員 】

- ・ 旧商工会館から北に上がろうとすると、東西の道路により分断され迂回をする必要があり、売却する際にマイナスになるのではないかと心配している。売却した後では道路整備も難しくなると思うので、早い段階で南北に抜ける道路を整備してはどうかと思う。

【 N 委員 】

- ・ 駅北公有地周辺は生活するのに非常に便利な場所であると認識している。マンションなどが建設されると良いのではないかと期待している。

【 J 委員 】

- ・ 他の委員からも意見があったが、駅北公有地の南から北まで抜ける道路を整備すると回遊性も向上し、土地の付加価値も上がるのでは。店舗(ショッピングセンター)の例になるが、売上の悪い店舗につながる通路を90cm広げたところ、客数の増加につながったということもある。道路を整備することにより、投資も生まれてくるであろうし、周辺の活性化にもつながると思う。

⑤ その他

【 E 委員 】

- ・ 新市庁舎建設について、県の総合庁舎が新庁舎に移転するとともに、警察署の現市庁舎敷地内への移転を市から県に要望されていると聞くと、災害発生時などの連携や、市、県、警察と複数に関係する、例えばイベント実施に伴う各種申請手続きなどのことを考えると、これらの施設が同じ場所であれば市民にとって安全・安心の面でも心強いし、大変便利になると思う。また、施設が移転した後の空いた土地を活用した駅周辺のまちづくりにも期待ができるかと思う。

【 O 委員 】

- ・ まちづくりを進めていくにあたっては、地域の方の意見をよく聞きながら進めていってほしい。

【 H 委員 】

- ・ 宮市本陣兄部家住宅は現在空き地のままになっているが、歴史のある場所でもあるため、休憩施設を設置するなどして利用してほしいと思う。
- ・ 旧防府商参会館について、老朽化し危険であるため対処をしてほしいという地元からの意見があった。

4 その他

【 G 委員 】

- ・ 前回の会議で、事務局からこの協議会のスケジュールは全3回との説明を受けたが、もう1回協議の場を設けて、最終的な素案がまとまる前に、今回出た意見等を個別の案件ごとにまとめたものの提示を受け、そのうえで議論をしてはどうかと思うがいかがか。

【 会 長 】

- ・ 委員提案のように、会議をもう1回増やしてはどうかと思うがいかがか。
→ 「異議なし」
会議については、もう1回を追加し、全4回としたい。

【 事務局 】

- ・ 次回開催時期等については、会長と相談の上、あらためて連絡したい。